

# 2017 年度日本演劇学会 秋の研究集会

## 「演技術からみる身体」

2017年11月4日(土)、5日(日)

於 愛媛大学城北キャンパス

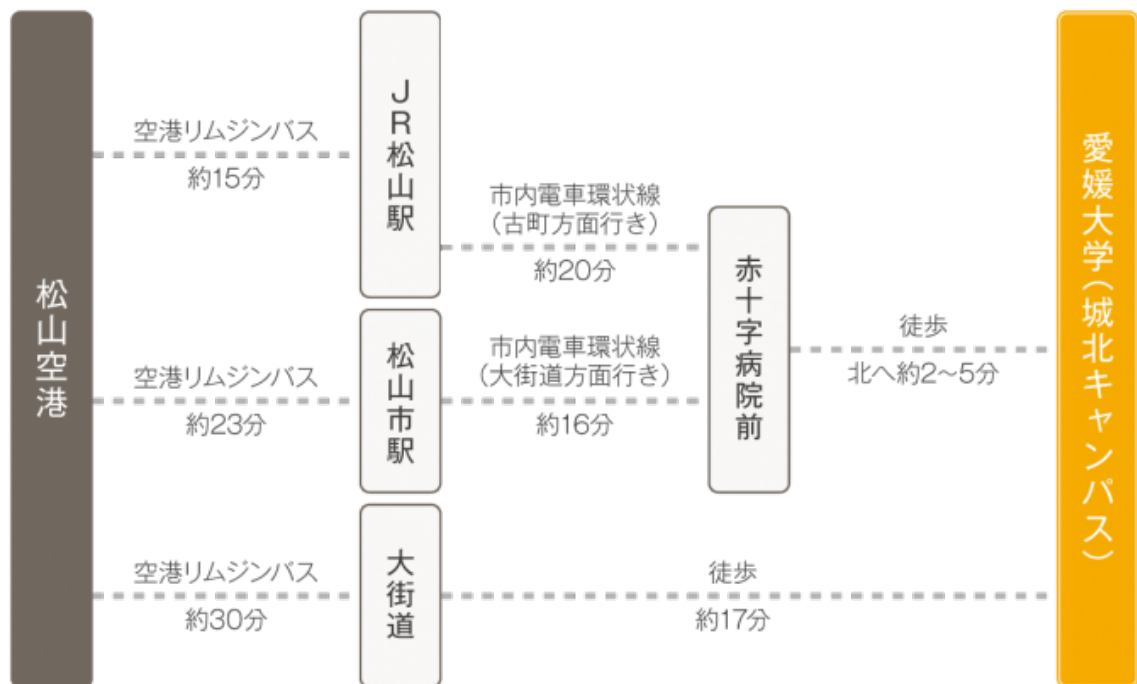
- 研究集会参加費 1500円 ○ 昼食代(お弁当) 1000円\*5日のみ/事前申込制
- 懇親会費 5500円 (学生3000円)

\* 学内の食堂・ショップは日曜にはあいていません(小さなカフェは営業しています)。直近のコンビニまでは徒歩5分ほどです。

\* 同封の参加申し込み葉書に必要事項をご記入のうえ、10月9日までにお出してください。

愛媛大学城北キャンパス 〒790-8577 松山市文京町3

交通アクセス：伊予鉄道市内電車環状線 赤十字病院前 徒歩2分



2017年日本演劇学会秋の研究集会 タイムスケジュール

11月4日 13:00~受付: 愛大ミュージアム入口ホール

	M23教室	M32教室	M33教室
	司会 藤岡阿由未 (椋山女学園大学)		司会 高橋慎也 (中央大学)
13:30-14:10	李裁仁(東京大学大学院) 「土方巽の「暗黒舞踏」における身体と表現」	パネル: 素人演劇の身体性 日比野啓(成蹊大学) 片山幹生(早稲田大学) 畑中小百合(大阪大学) 館野太郎(大阪市立大学)	ボグダン真理愛(愛媛大学大学院) 「身体表現における比喩の効果—"Judas, Christ With Soy" の制作過程におけるGAGAメソッドの使用を通して」
14:10-14:50	有元伸子(広島大学) 「『黒蜥蜴』とクィア・アダプテーション—乱歩、三島、三島以後」		山崎明日香(日本大学) 「コスモポリタンの存在としての俳優—バロック時代から18世紀にかけての演劇と思想の言説を手がかりに」
14:50-15:30	瀬戸宏(摂南大学) 「宮本研『阿Q外伝』考」		新沼智之(明治大学) 「身振り演技の発展プロセスにおけるゲーテの演技観」
休憩および移動20分			
	南加記念ホール		
15:50-18:10	開会挨拶 会長 永田靖(大阪大学) シンポジウム: 演技の研究をめぐって—文字資料は、どこまで演技を語れるか?— 今岡謙太郎 (武蔵野美術大学) 児玉竜一 (早稲田大学) 寺田詩麻 (龍谷大学) 中尾 薫 (大阪大学)		
移動20分			
18:30-20:30	懇親会 : 交友会館内haco		

11月5日

	M23教室	M32教室	M33教室
	司会 井上理恵(桐朋学園芸術短期大学)	司会 市川明(大阪大学)	司会 赤井朋子(神戸薬科大学)
10:00-10:40	高秉旭(日本大学大学院) 「日本統治時代の韓国における新派劇の受容」	園部友里恵(三重大学)、福田寛之(一橋大学大学院) 「仮面を用いた高齢者の即興演劇にみる<老いた身体>」	山本博士(東京大学大学院) 「他者のまなざしのもとでの二重性—ストラスバークの「メソッド」について
10:40-11:20	鈴木国男(共立女子大学) 「男役が語る男役」	井上由里子(静岡文化芸術大学) 「アール・ブリュットと演劇—ヴァレール・ノヴァリナの演技論をめぐって」	佐藤由紀(玉川大学) 「一人芝居における俳優の発話と非言語情報の関係について」
11:20-12:00	法月敏彦(桜美林大学) 「下肢からみる日本演劇の異国志向」	小林由利子(東京都市大学) 「乳幼児期のための演劇の発展—「スモール・サイズ」の検討を通して」	藤崎周平(日本大学) 「俳優育成の初期教育におけるスタンダードの可能性について」
12:00-13:30	昼食(理事会:愛大ミュージズ3階会議室)		
	南加記念ホール		
13:30-14:45	講演① ディディエ・ガラス「フランスの伝統的俳優教育と現代演劇」*		
	司会 小菅隼人(慶應義塾大学)	通訳 中筋朋(愛媛大学)	
14:50-15:40	講演② 奥野晃士「武芸一如の演技術—世界に求められるスズキ・トレーニング・メソッドの有用性と日本人の身体」		
	司会 小菅隼人(慶應義塾大学)		
休憩10分			
15:50- 16:40	ラウンドテーブル 登壇者:ディディエ・ガラス、奥野晃士、山下純照(成城大学)、中筋朋(通訳)		
16:40	閉会挨拶 副会長 小菅隼人(慶應義塾大学)		

\*講演①は科学研究費16K21209「フランス演劇における近代演出の確立と俳優訓練術の発展—俳優特有の身体概念の形成」の助成を受けています。

# 愛媛大学城北キャンパス

